

医科診療所の事業継続に関するアンケート調査 「結果報告書」

静岡県医師バンク

静岡県委託 令和6年度静岡県ドクターバンク運営事業

【お問合せ先】 静岡県医師バンク運営事務局 (一般社団法人静岡県医師会内)
E-mail: dr-bank@jim.shizuoka.med.or.jp / TEL:054-246-6151 (静岡県医師会代表)

【目次】

<u>はじめに</u>	1
調査概要	2
医科診療所を対象として実施した「一次調査」の結果について	3
1. 調査概要	4
2. サマリー	5
3. 調査結果の概要	6
4. 回答者属性	8
5. 調査結果	
1) 診療所が開設された経緯	13
2) 将来的な維持・存続についての考え方	14
2-1) 承継時期についての考え方	15
2-2) 閉院時期についての考え方	16
3) 後継者候補について	17
3-1) 後継者候補がない理由	18
3-2) 後継者として第1候補と考える人	19
4) 第三者や他の医療機関等への事業承継を検討するにあたっての不安	20
5) 維持・存続についての相談先	21
6) 「静岡県医師バンク」の認知度	22
7) 静岡県医師バンクへの相談意向	23
6. 調査票	24
都市医師会ならびに市町を対象として実施した「二次調査」の結果について	27
1. 調査概要	28
2. 調査結果の概要	29
3. 都市医師会を対象として実施した調査の結果	31
1) 事業継続(医業承継等)に係る相談窓口の設置状況について	31
2) これまでの相談事例について	32
3) 診療所の事業継続に関する現状と課題等について	33
4) 市町を対象として実施した調査の結果	34
1) 事業継続(医業承継等)に課題を抱える診療所の状況把握について	34
2) 事業継続(医業承継等)に関する診療所からの相談の状況について	35
3) 事業継続に係る諸課題への対応(都市医師会・保健所等との連携)について	35
4) その他意見等	36
5. 調査票	37

はじめに

- 静岡県医師会は、地域医療介護総合確保基金を活用した医師確保対策の一環として、静岡県からの委託を受け、令和2年度から「静岡県ドクターバンク運営事業」（以下、「静岡県医師バンク」という。）を運営している。
静岡県医師バンクでは、令和3年1月にWebサイト上の求職医師および求人施設の登録を開始し、無料で職業紹介（マッチング）業務等に取り組んできた。その結果、育児休業後のキャリアアップを目指す女性医師や定年退職後の再就業先を検討中の病院勤務医師、配偶者の転勤（異動）等により他県から転居し新たな就業先を検討する医師等に対し、希望に沿った医療機関等への就業につなげることで、徐々に成果を上げてきた。
- 最近では、医師自身の高齢化や後継者不足等の理由により事業継続に不安や困難さを抱える診療所から、承継に関する相談が増加傾向にあるため、静岡県医師バンクは、事業承継についても重点業務の一つに位置づけ、令和6年3月には、静岡県医師信用組合と静岡銀行の二者による医業承継支援に向けた包括連携に関する協定を締結し、支援を希望する医療機関に対応する体制を整えたところである。
- こうした中、静岡県医師バンクでは、静岡県からの委託を受け、令和6年度事業の一環として「医科診療所の事業継続に関するアンケート調査」を実施したので、その結果の概要を報告する。
- 本調査の背景には、日本医師会総合政策研究機構が2019年に全国規模で実施した「医業承継実態調査」（①医療機関経営者向け調査、②都道府県医師会および郡市区医師会調査）がある。同調査によれば、「後継者候補が見つからず世代交代の機会をつかめていない医療機関経営者が相当程度存在すること」、「医業承継が多くの医師会員にとって喫緊の課題でありながらも、対処する組織整備や支援体制づくりが進んでいないこと」等が明らかとなり、将来的に承継問題が顕在化すれば日本各地でプライマリ・ケアの維持・継続が困難となる事態も想定されるとしている。
 - ☞ ①医療機関経営者向け調査：<https://www.jmari.med.or.jp/result/working/post-390/>
 - ☞ ②都道府県医師会および郡市区医師会調査結果：<https://www.jmari.med.or.jp/result/report/essay/post-627/>
- また、令和6年12月には、厚生労働省が開催する「新たな地域医療構想等に関する検討会」の「医師偏在対策に関するとりまとめ」において、「診療所医師の高齢化が進行している中で、診療所医師が80歳で引退し、承継がなく、新規開業がないと仮定した場合、2040年においては、診療所がない市区町村が170程度増加すると推計（現状77）、診療所の地域偏在への対応も求められる」と報告しており、静岡県においても、診療所医師数が半減以下となる二次医療圏があるなど、医科診療所の事業継続は喫緊の課題となっている。
 - ☞ 厚生労働省「新たな地域医療構想に関するとりまとめ」：<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/001357306.pdf>
 - ☞ 厚生労働省「第12回新たな地域医療構想等に関する検討会」資料1：<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/001335627.pdf>
(2040年における二次医療圏別診療所医師数の見込み)
- 今回は、静岡県内の全ての医科診療所に対して事業継続に関する課題の有無や今後の方向性について調査するとともに、郡市医師会および市町行政に対して診療所の事業継続に対する情報収集や対応状況等について調査を行った。本調査の結果が、県民の最も身近なかかりつけ医療機関として、また、地域の保健・医療・介護・福祉に幅広く貢献している医科診療所の安定した事業継続に向けた対策の一助となれば幸いである。

調査概要

- 調査目的 医師の高齢化や後継者不足により、地域医療において重要な役割を担う診療所の維持が困難になることが危惧されることから、地域医療の確保を目的として、医業承継に係る具体的なニーズを把握するため、県内全ての医科診療所を対象としたアンケート調査を実施することとした。

【一次調査】

また、郡市医師会ならびに市町行政が、管下の医科診療所の事業継続に関する現状と課題について、どのように把握し対策を講じているかについて調査をおこなった。【二次調査】

■ 調査実施

【一次調査】 令和6年6月27日～7月26日

【二次調査】 令和6年12月4日～12月23日

■ 調査対象

【一次調査】 静岡県内全ての医科診療所（令和5年4月1日現在 2,758 施設） *発送数 2754 件

【二次調査】 (1) 静岡県内の全ての郡市医師会（令和6年12月1日現在 22 医師会）

(2) 静岡県内の全ての市町（令和6年12月1日現在 35 市町(23 市・12 町)）

■ 調査方法

【一次調査】 郵送または Web 回収

【二次調査】 (1) 郡市医師会（事務局宛て）に E メールにて回答を依頼

(2) 静岡県健康福祉部（医療政策課）に依頼して、市町に E メールにて回答を依頼

■ 回収数

【一次調査】 1102 件（郵送 745 件／Web357 件） [回収率 40.0%]

*有効回答数 1091 件（無記載または Q1 以降の回答がない 11 件を無効とした。）

【二次調査】 (1) 22 医師会 [回収率 100%]

(2) 31 市町 [回収率 88.5%]

■ 調査主体 静岡県委託 静岡県医師バンク（一般社団法人 静岡県医師会）

静岡県内全ての医科診療所を対象として実施した

「一次調査」の結果について

調査概要

- 調査目的 今後、医師の高齢化や後継者不足により、地域医療において重要な役割を担う診療所の維持が困難になることが危惧されることから、地域医療の確保を目的として、医業承継に係る具体的なニーズを把握するため、県内全ての医科診療所を対象としたアンケート調査を実施することとした。
- 調査実施 令和6年6月27日～7月26日
- 調査対象 静岡県内の全ての医科診療所（令和5年4月1日現在2,758施設）
- 調査方法 郵送またはWeb回収
- 発送数 2754件
- 回収数 1102件（郵送745件／Web357件） ※回収率40.0%
- 有効回答数 1091件 ※無記載またはQ1以降の回答がない11件を無効とした
- 調査主体 静岡県委託 静岡県医師バンク

- 将来的な維持・存続について、「承継」を考えているのは67.9%、「閉院」も視野に入れているのは34.3%。

所在地別にみると、中部は「親族への承継」が、西部は「親族以外の第三者への承継」と回答した診療所の割合が高く、東部は「承継」を考える割合が他地区より低い。また、高齢化率上位10位市町では、「親族への承継」の割合が低く、「他の医療機関等への承継」「閉院」の割合が高い。

- 「閉院」により考えられる影響としては、かかりつけ医を失う患者の発生や、周辺他院への負担増などが挙げられた。

- 後継者不在の状態にあるのは55.8%。その理由として「医師の子ども・親族がいない」が44.7%と最多。

所在地別にみると、「後継者候補がいる」と回答した診療所は、中部が東部・西部より高く、また、高齢化率上位10位市町において低い。

- 「親族以外の第三者の承継」または「他の医療機関等への事業承継」を考えている施設の60.4%が、「後継者候補を自力で探せるか不安」に感じている。

- 維持・存続に関する相談先は、「顧問税理士」が23.24%で最多。（63.5%が無回答。）

- 「静岡県医師バンク」の認知度は25.5%にとどまる。

調査結果の概要

○基本情報（回答者の属性）

有効回答数1091件の回答者の属性をみると、「開設者兼管理者」からの回答が79.0%で、年齢は50～70代が約8割を占めた。診療所の開設主体は、「個人の診療所」が42.1%、「一人医師医療法人」が39.1%であった。また、有床・無床の別でみると「無床」が93.8%を占めた。担っている機能では、「予防接種」（75.6%）、「各種健診」（67.1%）、「介護保険」（58.8%）、「初期救急医療」（48.2%）、「学校医」（42.9%）が多かった。（P8～12参照）

1.診療所が開設された経緯（Q1）

診療所開設の経緯について（Q1）は、「現在の開設者が開設した」が全体の64.3%を占め、「親族から承継した」は25.0%、「親族以外の第三者から承継した」は4.9%であった。所在地別でみると、東部では「現在の開設者が開設した」が57.7%と、中部（65.8%）、西部（67.7%）と比べて低かった。（P13参照）

2.将来的な維持・存続についての考え方（Q2、Q2-1、Q2-2）

自院の将来的な維持・存続について（Q2）（複数回答）は、「親族の承継」が38.4%、「親族以外の第三者への承継」が30.1%、「他の医療機関等への事業承継」が17.1%で、全体の67.9%が何らかの形で承継を考えていた。このうち、「親族以外の第三者の承継」または「他の医療機関等への事業承継」のいずれかは全体の36.1%であった。一方、「閉院」を視野に入れている施設は34.3%であった。所在地別でみると、中部で「親族への承継」が42.6%と、東部（34.5%）、西部（37.8%）と比べて高かった。また、西部では「親族以外の第三者への承継」が34.8%と、東部（24.8%）、中部（29.8%）と比べて高く、東部では何らかの形で承継を考える割合が全体の62.9%と、中部（69.7%）、西部（70.6%）と比べて低かった。また、高齢化率でみると、上位10位の市町では「親族への承継」が26.8%と、11位以下の市町（39.1%）と比べて低い一方、「他の医療機関等への事業承継」、「閉院」の割合が高かった。（P14参照）

承継を考えている施設のうち、承継の時期について（Q2-1）は、「5年以内」が20.0%、「5～10年以内」は28.5%で、合わせると10年以内が48.5%となった。所在地別でみると、「5年以内」は西部で23.4%と高く、東部で15.5%と低かった。一方、「未定」は東部で24.9%と高かった。10年以内に承継を考えている割合は、西部（51.7%）、中部（49.8%）で約半数を占めた。高齢化率でみると、上位10位の市町では「5年以内」が11.1%と低い一方、「未定」が27.8%と高かった。（P15参照）

閉院を考えている施設のうち、閉院の時期（Q2-2）は、「5年以内」が16.8%、「5～10年以内」が27.5%で、合わせると10年以内が44.3%となった。所在地別でみると、10年以内に閉院を考えている割合は、西部で50.7%と、東部（36.2%）、中部（44.1%）と比べて高かった。また、閉院による地域への影響（自由記述）では、「影響は少ない（特になし）」との回答（75件）が多い一方、患者への影響として「かかりつけ医を失う」（75件）、「特定の科が不足」（34件）などの意見や、周辺の他院への負担を心配する記述（18件）があった。（P16参照）

調査結果の概要

3.後継者候補の有無（Q3、Q3-1、Q3-2）

自院の維持・存続にあたって、現時点で後継者候補がいるかたずねたところ（Q3）、「後継者候補がいて承継についても意思確認済み」が18.1%、「後継者候補はいるが意思は確認していない」が22.9%で、全体の41.0%が何らかの形で後継者候補がいると回答した。一方、「現段階で後継者候補はいない」は55.8%で、現時点で後継者不在の施設が半数以上を占めた。所在地別でみると、中部で後継者候補がいる施設が45.6%と、東部（38.1%）、西部（39.0%）と比べて高かった。高齢化率でみると、上位10位の市町で後継者候補がいると回答した施設は35.7%と、11位以下の市町と比べて低かった。（P17参照）

現段階で後継者候補がない理由（Q3-1）では、「医師の子ども・親族がいない」が44.7%、「医師の子ども・親族はいるが現時点で承継の予定がない」が34.6%であった。（P18参照）

後継者候補がいる施設の第1候補（Q3-2）は、「子ども」が80.8%を占め、「非親族で自院の勤務医以外」は8.1%、「非親族で自院の勤務医」は5.1%、「子ども以外の親族」は3.1%であった。（P19参照）

4.第三者や他の医療機関等への事業承継を検討するにあたっての不安（Q4）

第三者や他の医療機関等への承継を検討している施設において不安に感じること（Q4）は、「後継者候補を自力で探せるか不安」が60.4%で最も高く、次いで「信頼できる相談先が見つかるか不安」が52.3%、「妥当な金額で事業譲渡できるか不安」が46.2%と続いた。（P20参照）

5.維持・存続についての相談先（Q5）

自院の維持・存続の相談先（Q5）は、「顧問税理士」が全体の23.2%で最も高かった。このうち、Q2で将来的に何らかの形で承継を考えていると回答した施設では、「顧問税理士」が28.5%で最も高かった。また、Q2で「第三者、他の医療機関への承継」と回答した施設では「顧問税理士」が26.4%と高かった一方、「民間の医業経営コンサルタント」（8.1%）や「M&A仲介専門業者」（7.1%）も7～8%とやや高い傾向にあった。（P21参照）

6.「静岡県医師バンク」の認知度（Q6、Q7）

静岡県医師バンクの認知度について（Q6）は、「知っていた」が全体の25.5%であった。高齢化率でみると、上位10位の市町では「知っていた」が19.6%とやや低かった。

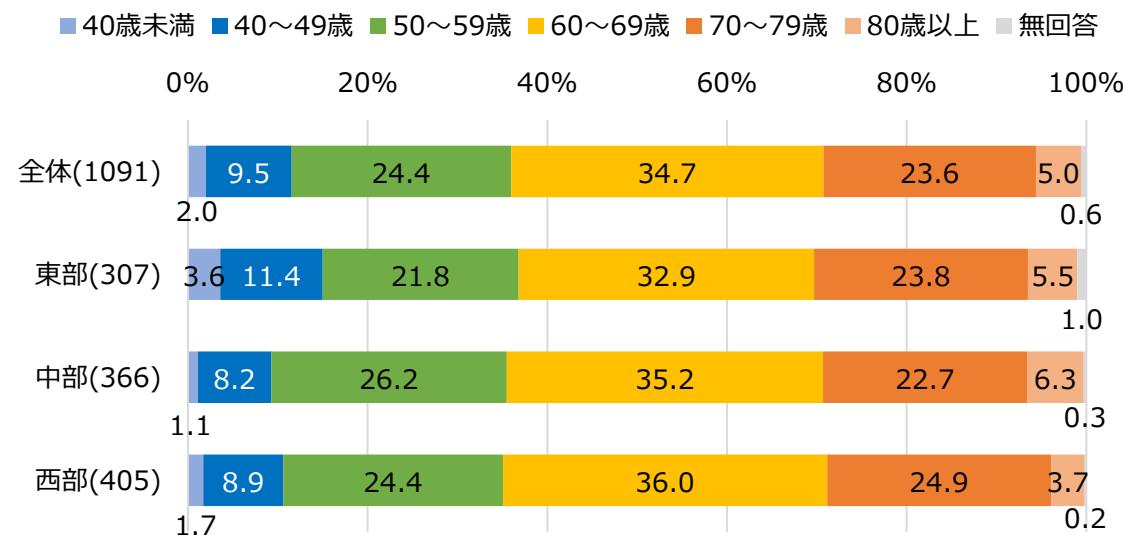
静岡県医師会が令和6年3月に静岡県医師信用組合ならびに静岡銀行と「医業承継支援に向けた包括連携に関する協定」を締結したことについての認知度（Q7）は、「知っていた」が全体の10.7%であった。（P22参照）

7.静岡県医師バンクへの相談意向（Q8）

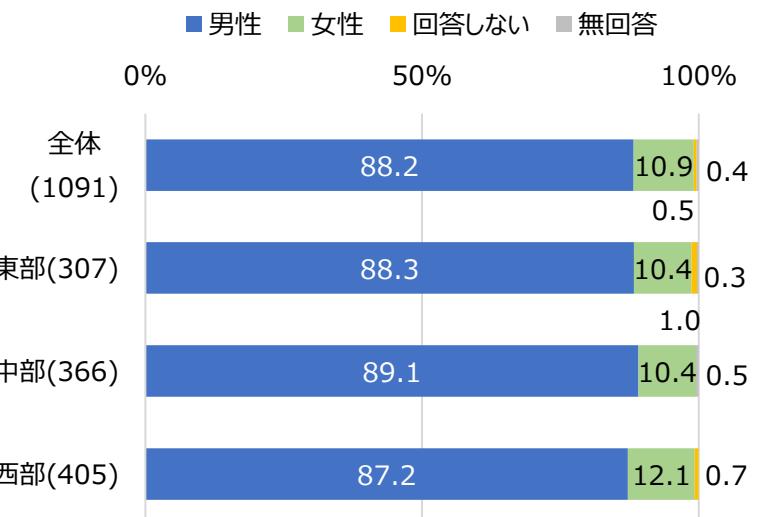
自院の維持・存続について静岡県医師バンク（静岡県医師信用組合・静岡銀行との連携協定を含めて）への相談意向について（Q8）は、「相談したい」が全体の7.1%で、「相談の予定はない」は38.9%と約4割、「現時点ではわからない」が50.8%と半数を占めた。ただし、将来的な維持・存続において「第三者、他の医療機関への承継」を考えている施設では、「相談したい」が14.7%とやや高かった。（P23参照）

回答者属性

F1 年齢



F2 性別

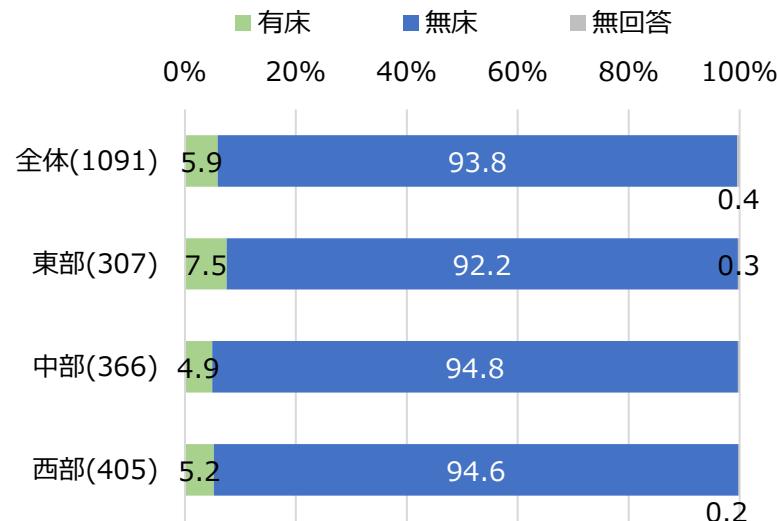


		40歳未満	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	無回答
単位% カッコ内は実数								
全体 ※所在地不明を含む (1091)		2.0	9.5	24.4	34.7	23.6	5.0	0.6
所在地	東部 (307)	3.6	11.4	21.8	32.9	23.8	5.5	1.0
	中部 (366)	1.1	8.2	26.2	35.2	22.7	6.3	0.3
	西部 (405)	1.7	8.9	24.4	36.0	24.9	3.7	0.2
高齢化	高齢化率上位10位市町 (56)	7.1	8.9	21.4	30.4	21.4	7.1	3.6
	高齢化率11位以下市町 (1022)	1.8	9.4	24.5	35.1	24.0	5.0	0.3

	男性	女性	回答しない	無回答
(1091)	88.2	10.9	0.5	0.4
(307)	88.3	10.4	1.0	0.3
(366)	89.1	10.4	0.0	0.5
(405)	87.2	12.1	0.7	0.0
(56)	82.1	14.3	1.8	1.8
(1022)	88.5	10.9	0.5	0.2

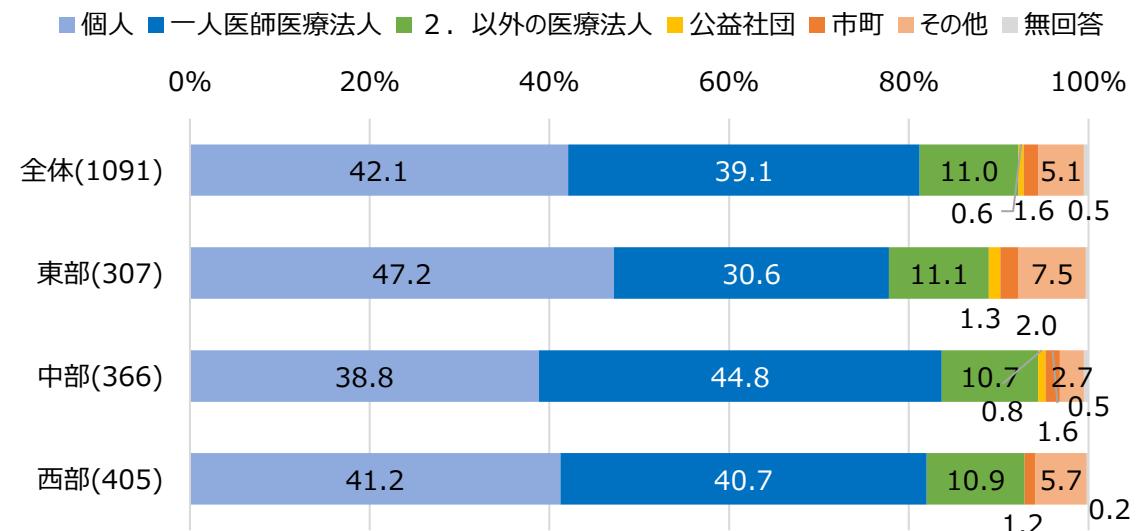
回答者属性

F4 診療所種別



		有床	無床	無回答
単位% カッコ内は実数				
全体	※所在地不明を含む (1091)	5.9	93.8	0.4
所在	東部 (307)	7.5	92.2	0.3
地	中部 (366)	4.9	94.8	0.3
高	西部 (405)	5.2	94.6	0.2
齢	高齢化率上位10位市町 (56)	0.0	98.2	1.8
化	高齢化率11位以下市町 (1022)	6.1	93.7	0.2

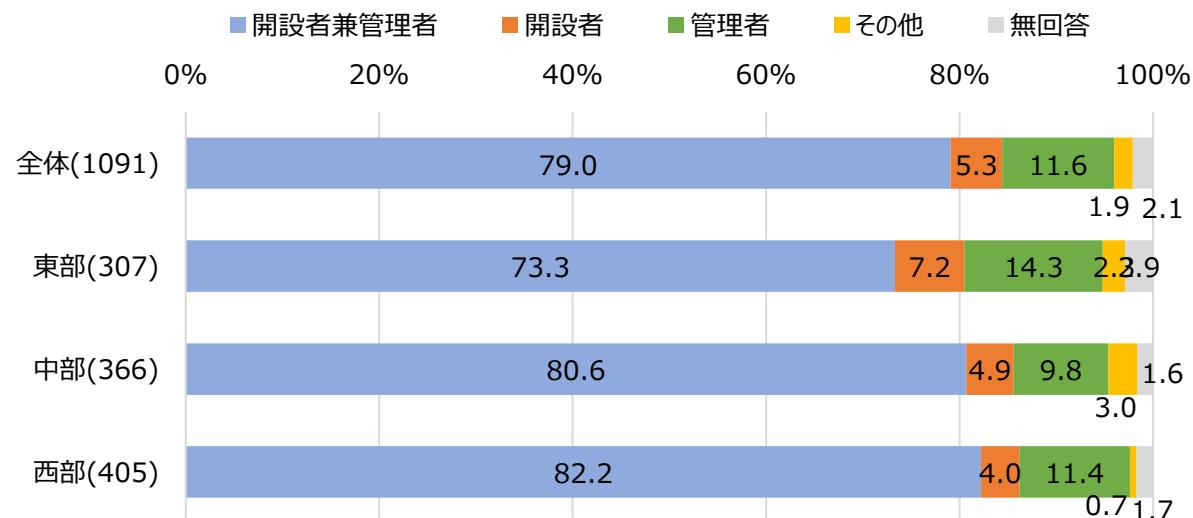
F5 開設主体



		個人	一人医師医療法人	2. 以外の医療法人	公益社団	市町	その他	無回答
単位% カッコ内は実数								
全体	※所在地不明を含む (1091)	42.1	39.1	11.0	0.6	1.6	5.1	0.5
東部	(307)	47.2	30.6	11.1	1.3	2.0	7.5	0.3
中部	(366)	38.8	44.8	10.7	0.8	1.6	2.7	0.5
西部	(405)	41.2	40.7	10.9	0.0	1.2	5.7	0.2
高齢化率上位10位市町	(56)	44.6	26.8	7.1	5.4	5.4	10.7	0.0
高齢化率11位以下市町	(1022)	42.0	39.9	11.1	0.4	1.4	4.9	0.4

回答者属性

F6 役職



		開設者 兼管理 者	開設者	管理者	その他	無回答
単位% カッコ内は実数						
全体 ※所在地不明を含む (1091)		79.0	5.3	11.6	1.9	2.1
所在地	東部 (307)	73.3	7.2	14.3	2.3	2.9
	中部 (366)	80.6	4.9	9.8	3.0	1.6
	西部 (405)	82.2	4.0	11.4	0.7	1.7
高 齢 化	高齢化率上位10位市町 (56)	67.9	5.4	16.1	3.6	7.1
	高齢化率11位以下市町 (1022)	79.7	5.2	11.4	1.9	1.8

回答者属性

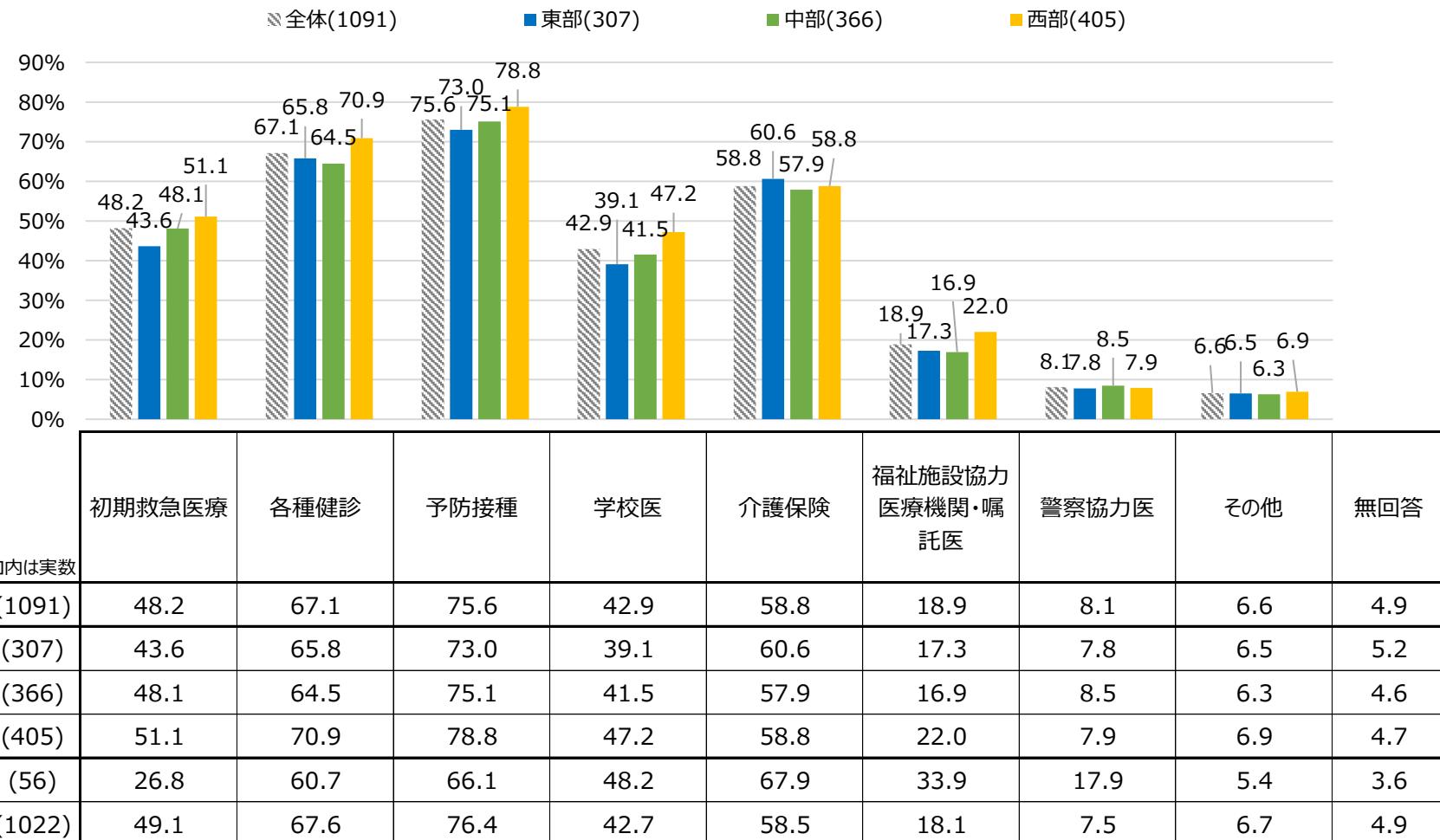
F7 診療科目

単位% カッコ内は実数	内科	循環器 内科・循 環器科	消化器 内科・消 化器科	呼吸器 内科・呼 吸器科	脳神経 内科・神 経内科	脳神経 外科	心療内 科	精神科	外科	泌尿器 科	整形外 科	形成外 科	美容外 科	婦人科
全体 ※所在地不明を含む (1091)	40.0	4.4	6.1	2.7	0.9	2.1	1.0	3.5	5.6	3.8	7.1	0.5	0.3	1.1

単位% カッコ内は実数	産婦人 科	小児科	眼科	耳鼻咽 喉科	皮膚科	肛門科	放射線 科	リウマチ 科	アレル ギー科	リハビリ テーション 科	歯科・口 腔外科	その他	無回答
全体 ※所在地不明を含む (1091)	3.8	8.5	7.3	5.9	4.9	0.6	0.3	0.4	1.6	1.2	0.4	3.8	0.3

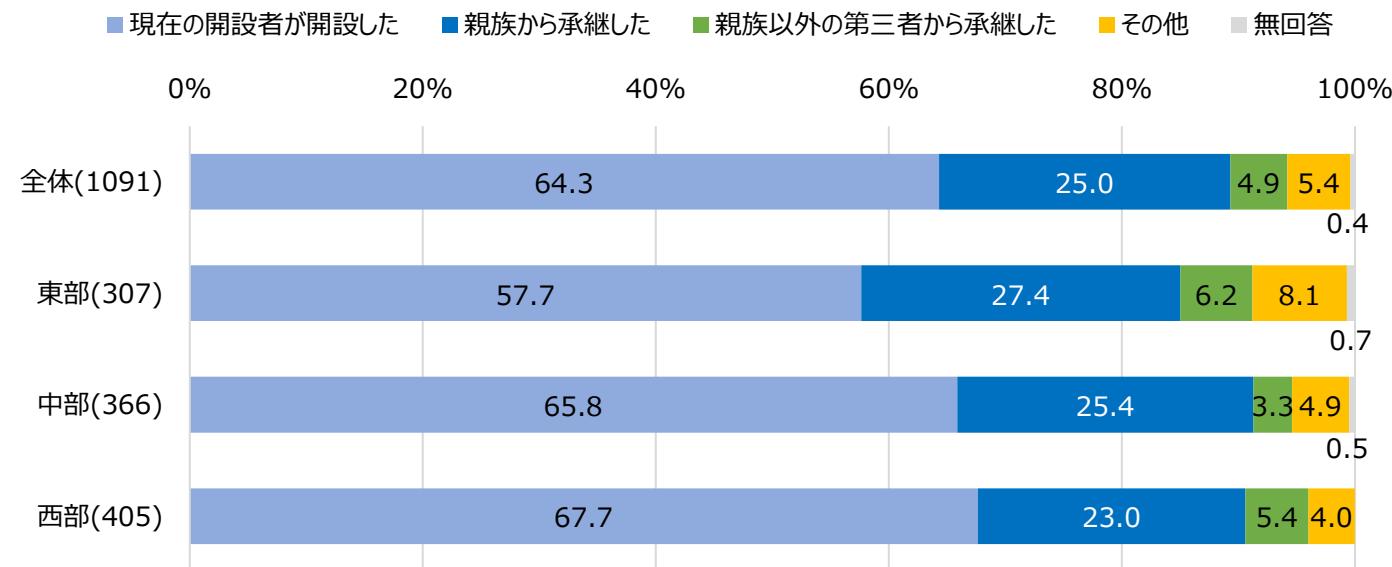
回答者属性

F8 担っている地域医療、保健・福祉・介護保険事業等の機能



診療所が開設された経緯

Q1. 診療所が開設された経緯をお教えください。(○は1つ)



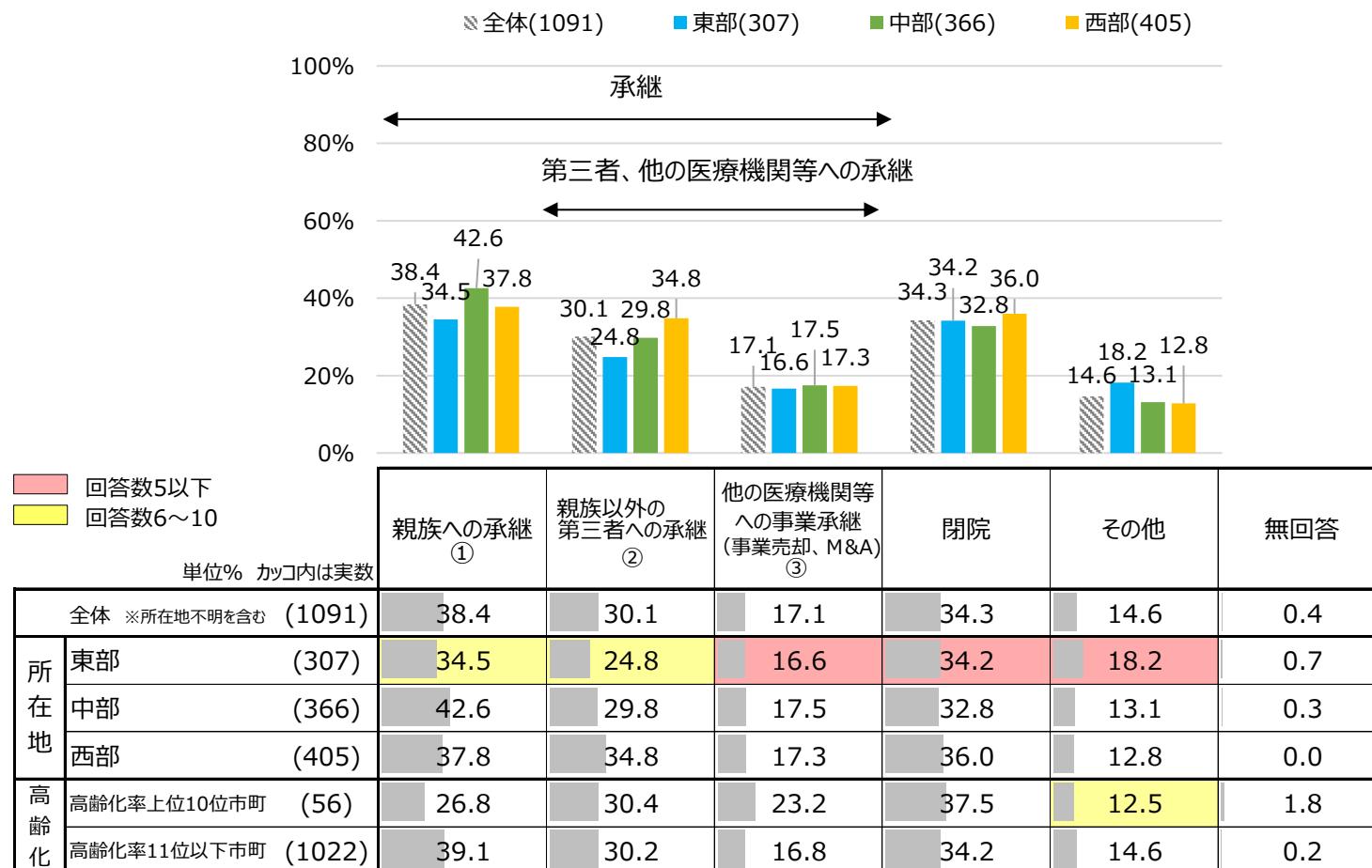
回答数5以下
回答数6~10
単位% カッコ内は実数

		現在の開設者が開設した	親族から承継した	親族以外の第三者から承継した	その他	無回答
所在	全体 ※所在地不明を含む (1091)	64.3	25.0	4.9	5.4	0.4
地	東部 (307)	57.7	27.4	6.2	8.1	0.7
	中部 (366)	65.8	25.4	3.3	4.9	0.5
	西部 (405)	67.7	23.0	5.4	4.0	0.0
高齢化	高齢化率上位10位市町 (56)	62.5	21.4	3.6	8.9	3.6
	高齢化率11位以下市町 (1022)	64.3	25.2	5.0	5.3	0.2

<「その他」回答>
法人・企業が開設（14件）、国・地方自治体等（12件）、
特別養護老人ホームが開設（7件）、医師会（2件）、
上記以外（7件）

将来的な維持・存続についての考え方

Q2.自院の将来的な維持・存続についてどのようにお考えか、お教えください。(○はいくつでも)



承継 (①～③のいずれか)	第三者、他の医療機関等への承継 (②、③のいずれか)
67.9	36.1
62.9	32.2
69.7	35.2
70.6	40.2
64.3	41.1
68.3	36.0

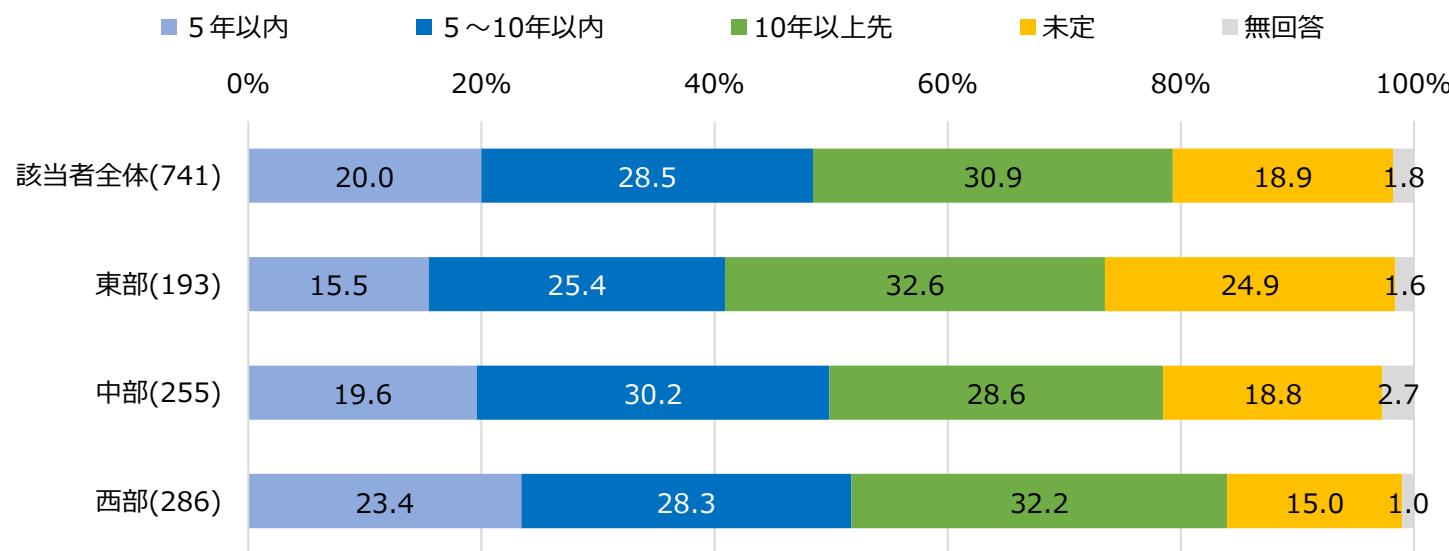
<「その他」回答>

法人・管理者の意向による（7件）、医師会員が承継（2件）、協力医療機関との契約・派遣（2件）、未定・考えていない（44件）、わからない・不明（16件）、上記以外（6件）

承継時期についての考え方

Q2で「1.親族への承継」「2.親族以外の第三者への承継」「3.他の医療機関等への事業承継」を選んだ方)

Q2-1.承継をお考えの場合、その時期等についてお教えください。(○は1つ)



回答数5以下
回答数6~10
単位% カッコ内は実数

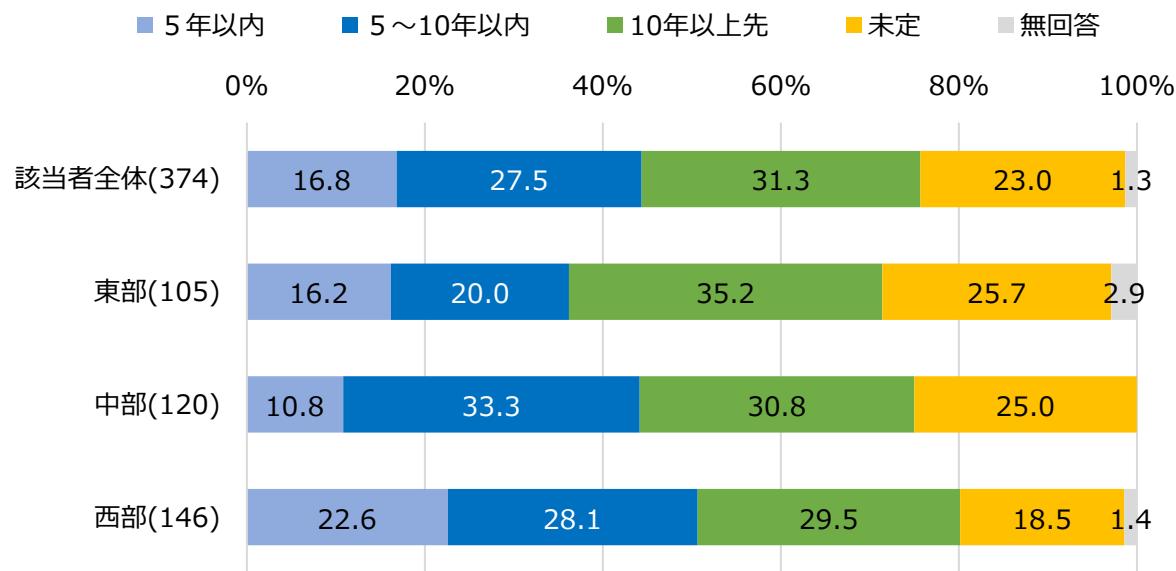
		5年以内	5~10年以内	10年以上先	未定	無回答	10年以内 計
該当者全体 ※所在地不明を含む (741)		20.0	28.5	30.9	18.9	1.8	48.5
所在地	東部 (193)	15.5	25.4	32.6	24.9	1.6	40.9
	中部 (255)	19.6	30.2	28.6	18.8	2.7	49.8
	西部 (286)	23.4	28.3	32.2	15.0	1.0	51.7
高齢化	高齢化率上位10位市町 (36)	11.1	25.0	33.3	27.8	2.8	36.1
	高齢化率11位以下市町 (698)	20.5	28.4	30.9	18.5	1.7	48.9

閉院時期についての考え方

Q2で「4.閉院」を選んだ方

Q2-2.閉院をお考えの場合、その時期等についてお教えください。(○は1つ)

また、閉院により地域に与える影響についてお教えください。(具体的に)



<閉院により地域に与える影響>

患者への影響（かかりつけ医を失う、利便性低下など）（41件）、
特定の科が不足（34件）、医療過疎・地域医療低下（21件）、
周辺診療所・他院への負担懸念（18件）、
影響は少ない・特になし（75件）、わらかない（27件）
上記以外（26件）

回答数5以下

回答数6~10

単位% カッコ内は実数

		5年以内	5~10年以内	10年以上先	未定	無回答
該当者全体	※所在地不明を含む (374)	16.8	27.5	31.3	23.0	1.3
所在地	東部 (105)	16.2	20.0	35.2	25.7	2.9
	中部 (120)	10.8	33.3	30.8	25.0	0.0
	西部 (146)	22.6	28.1	29.5	18.5	1.4
高齢化	高齢化率上位10位市町 (21)	9.5	23.8	14.3	52.4	0.0
	高齢化率11位以下市町 (350)	17.4	27.7	32.6	20.9	1.4

10年以内
計

44.3

36.2

44.1

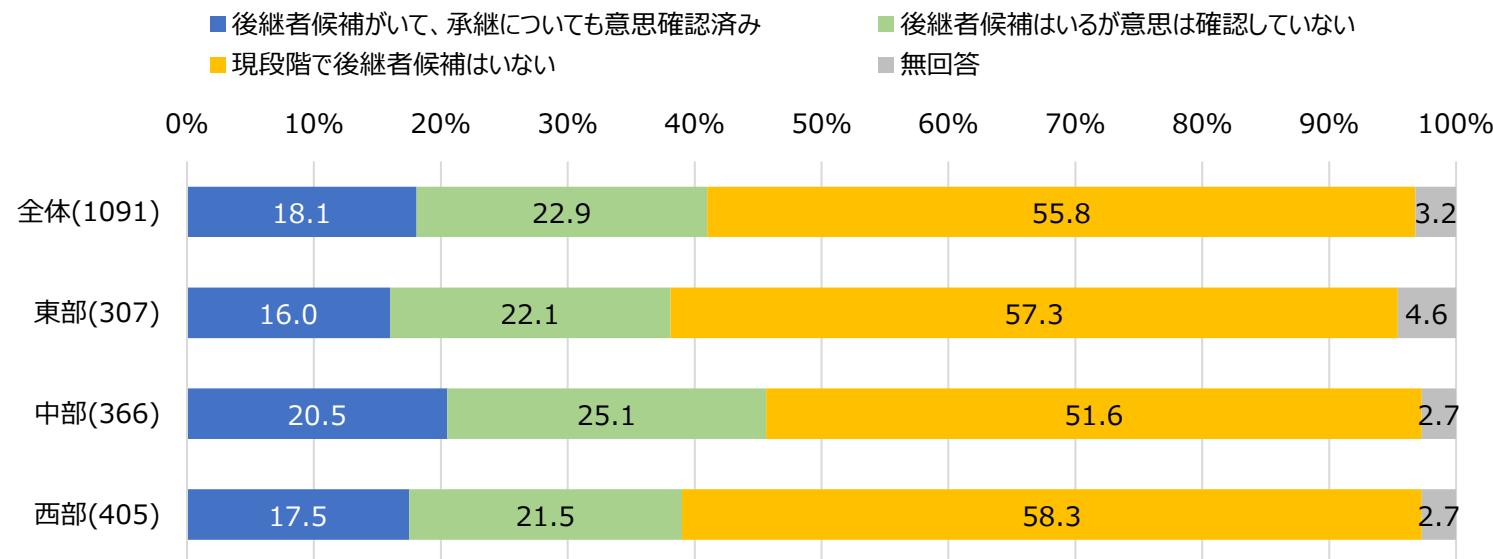
50.7

33.3

45.1

後継者候補について

Q3.自院の維持・存続にあたり、現時点にて後継者候補がいらっしゃいますか。いらっしゃる場合は、意思確認がなされているかについてもお教えてください。(○は1つ)

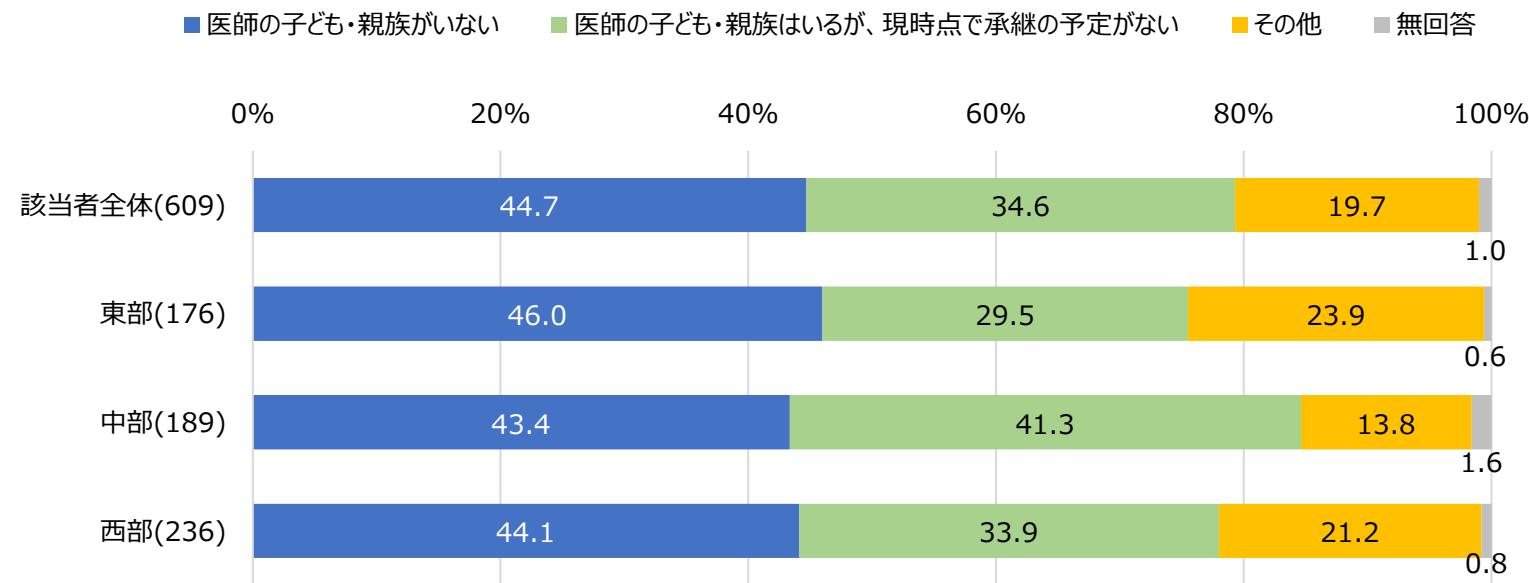


		回答数5以下	回答数6~10	後継者候補がいて、承継についても意思確認済み	後継者候補はいるが意思は確認していない	現段階で後継者候補はいない	無回答	後継者候補がいる計
単位% カッコ内は実数		回答数5以下	回答数6~10	後継者候補がいて、承継についても意思確認済み	後継者候補はいるが意思は確認していない	現段階で後継者候補はいない	無回答	後継者候補がいる計
所在	全体 ※所在地不明を含む (1091)	18.1	22.9	55.8	3.2	41.0		
	東部 (307)	16.0	22.1	57.3	4.6	38.1		
	中部 (366)	20.5	25.1	51.6	2.7	45.6		
高齢化	西部 (405)	17.5	21.5	58.3	2.7	39.0		
	高齢化率上位10位市町 (56)	8.9	26.8	57.1	7.1	35.7		
	高齢化率11位以下市町 (1022)	18.6	22.7	55.7	3.0	41.3		

後継者候補がない理由

Q3で「3.現段階で後継者候補はいない」を選んだ方)

Q3-1.「現段階で後継者候補はいない」とお答えの場合、その理由をお教えください。(○は1つ)



回答数5以下
回答数6～10

		医師の子ども・親族がいない	医師の子ども・親族はいるが、現時点で承継の予定がない	その他	無回答
該当者全体	※所在地不明を含む (609)	44.7	34.6	19.7	1.0
所在地	東部 (176)	46.0	29.5	23.9	0.6
	中部 (189)	43.4	41.3	13.8	1.6
	西部 (236)	44.1	33.9	21.2	0.8
高齢化	高齢化率上位10位市町 (32)	46.9	31.3	21.9	0.0
	高齢化率11位以下市町 (569)	44.3	35.1	19.5	1.1

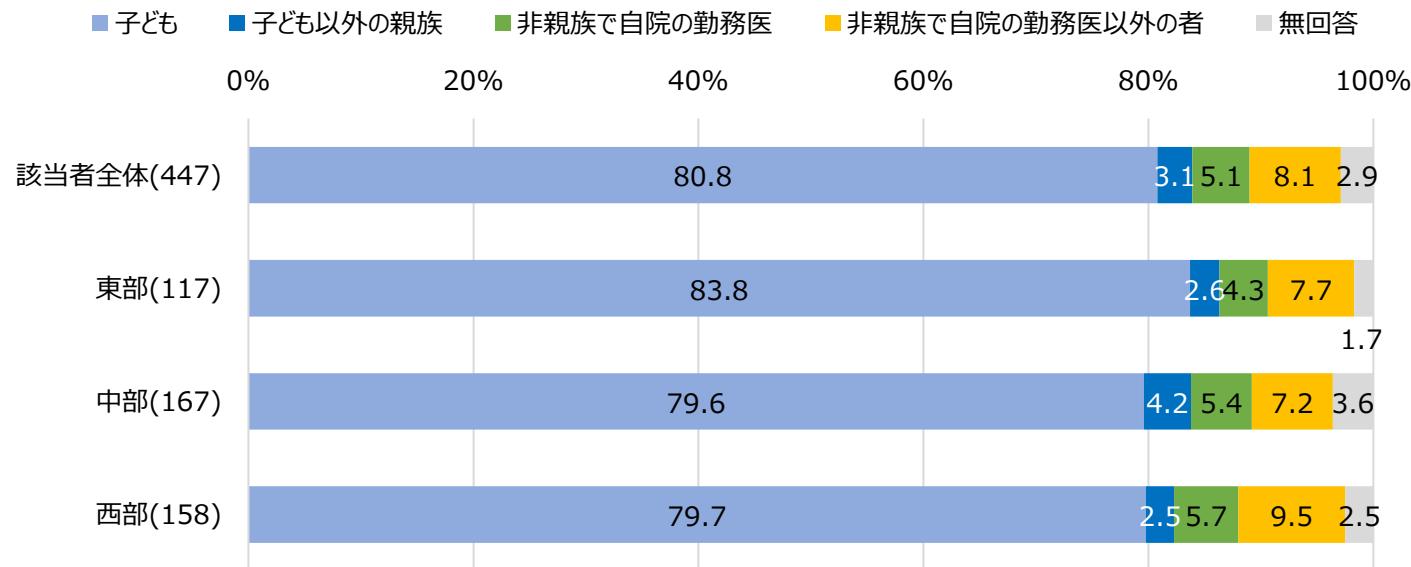
<「その他」回答>

組織人事・経営者の方針で決める（40件）、
子どもの進路・将来が決まっていないため（7件）、
適任がない（6件）、
子ども・後継者が別に開業または別の診療科目（4件）、
閉院予定（4件）、子どもがないから（2件）、
公募のため（2件）、わからない・未定（19件）、
上記以外（15件）

後継者として第1候補と考える人

Q3で「1.後継者候補がいて、承継についても意思確認済」「2.後継者候補はいるが意思は確認していない」を選んだ方)

Q3-2.「後継者候補がいる」とお答えの場合、後継者候補についてお教えください。複数の候補者がいらっしゃる場合は第1候補の方についてお答えください。(○は1つ)

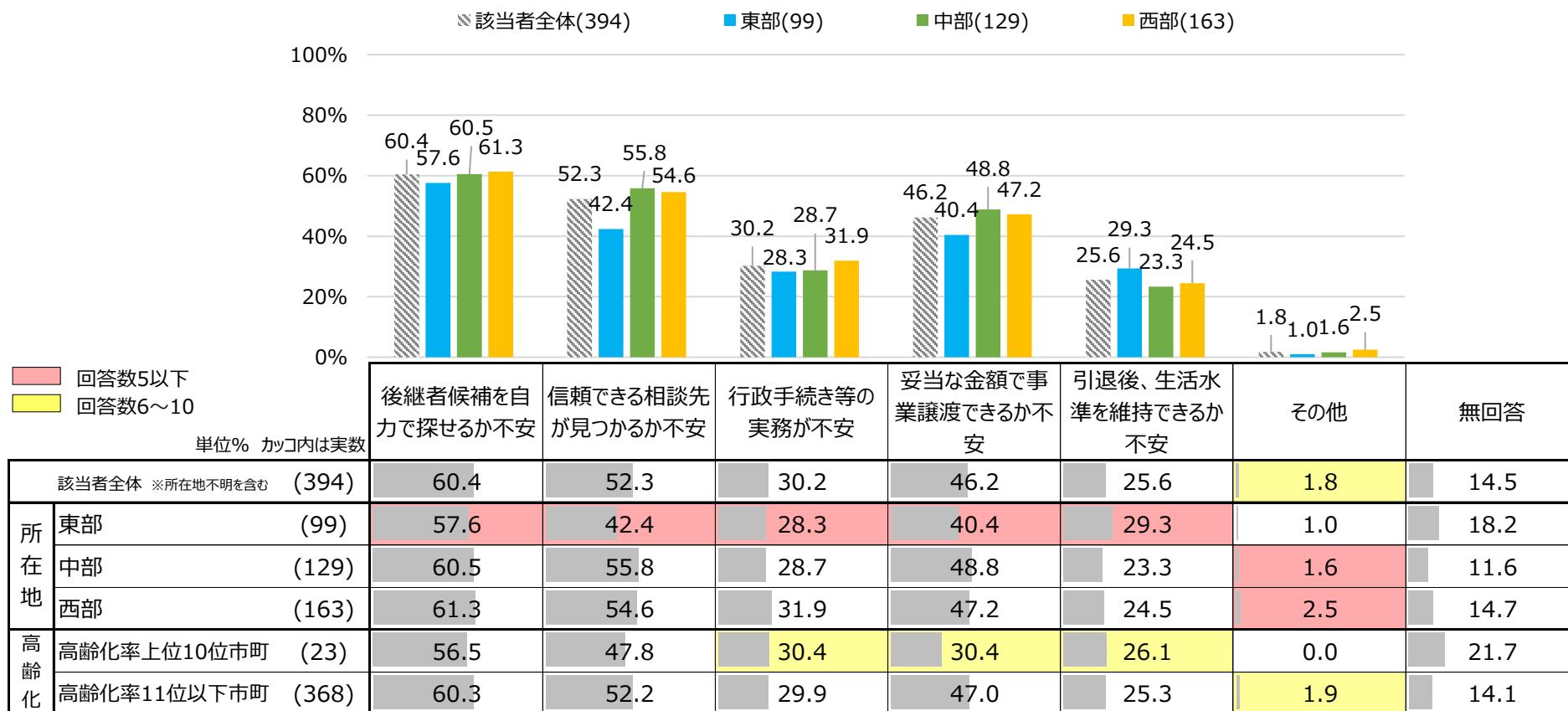


		子ども	子ども以外の親族	非親族で自院の勤務医	非親族で自院の勤務医以外の者	無回答
回答数	回答数5以下	80.8	3.1	5.1	8.1	2.9
所在地	東部 (117)	83.8	2.6	4.3	7.7	1.7
	中部 (167)	79.6	4.2	5.4	7.2	3.6
	西部 (158)	79.7	2.5	5.7	9.5	2.5
高齢化	高齢化率上位10位市町 (20)	75.0	0.0	10.0	15.0	0.0
	高齢化率11位以下市町 (422)	81.0	3.3	5.0	7.8	2.8

第三者や他の医療機関等への事業承継を検討するにあたっての不安

Q2で「2.親族以外の第三者への承継」「3.他の医療機関等への事業承継」を選んだ方

Q4.親族以外の第三者や他の医療機関等への事業承継を検討するにあたって、不安に思うことをお教えください。(○はいくつでも)

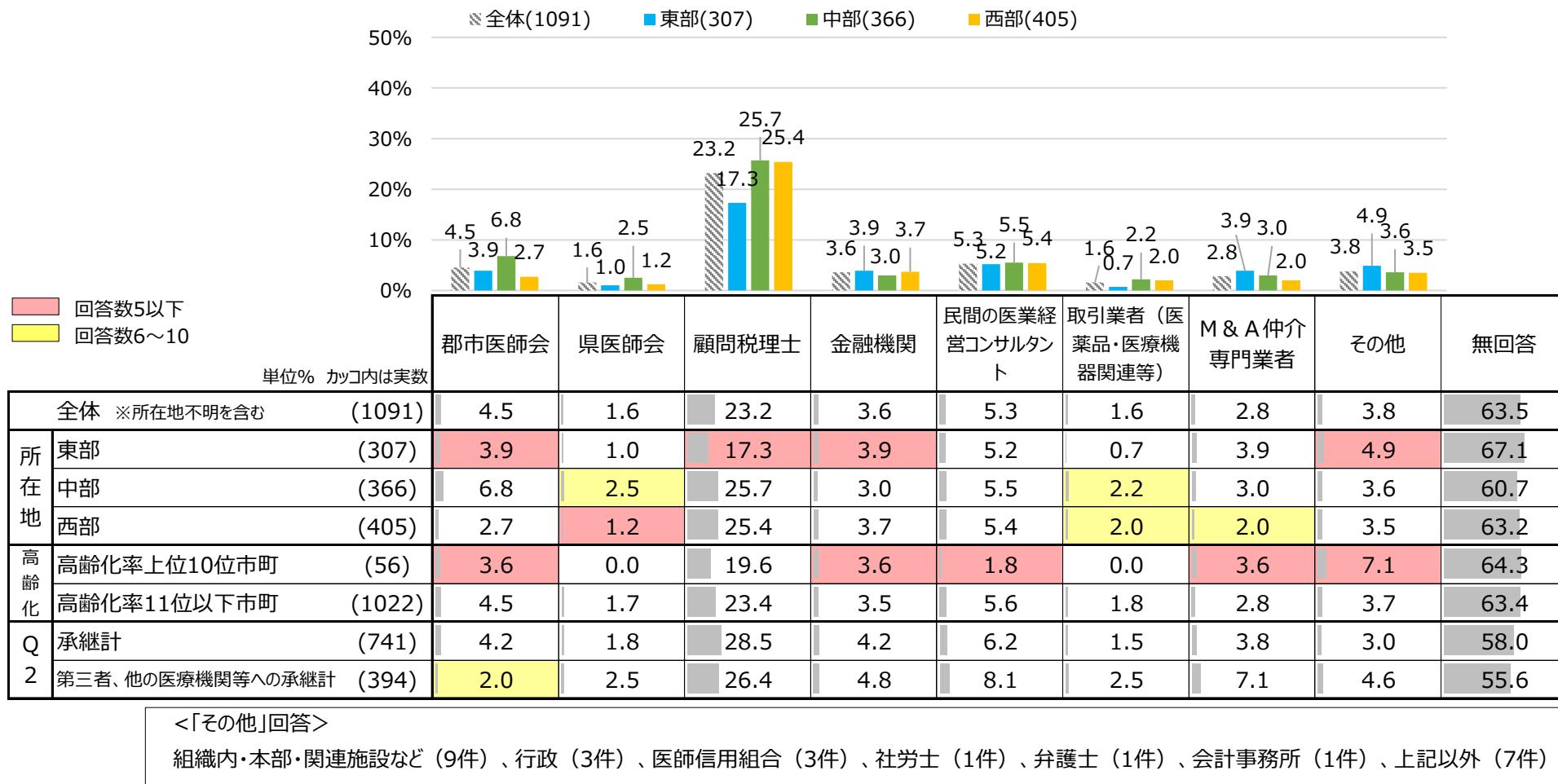


<「その他」回答>

- ・スムーズに継承出来るか
- ・かなり面倒
- ・地主の意向がどうか
- ・承継後も地域にサービス提供できるか
- ・診療方針が近い人がいるか
- ・継承時期をどうするか

維持・存続についての相談先

Q5.自院の維持・存続について、現在、具体的な相談をされている機関等があればお教えください。(○はいくつでも)

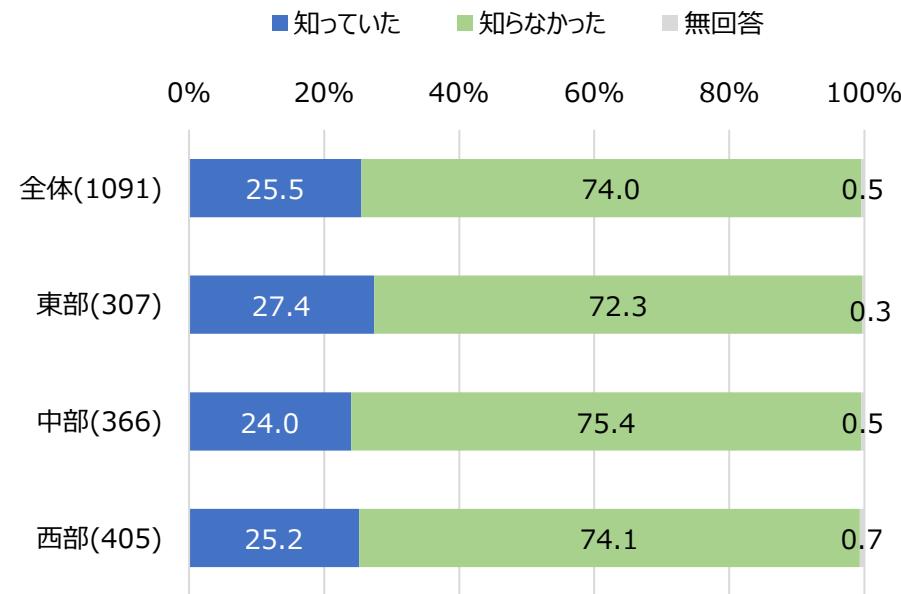


Q5-1.今後、自院の維持・存続について、相談をしてみたい機関等があればお教えください。

医師会（34件）、税理士（9件）、m3（5件）、仲介業者（4件）、金融機関（4件）、民間コンサルタント（3件）、大学（2件）、弁護士（1件）、特になし（114件）、わからない・不明（9件）、まだ考えてない（5件）、上記以外（18件）

「静岡県医師バンク」の認知度

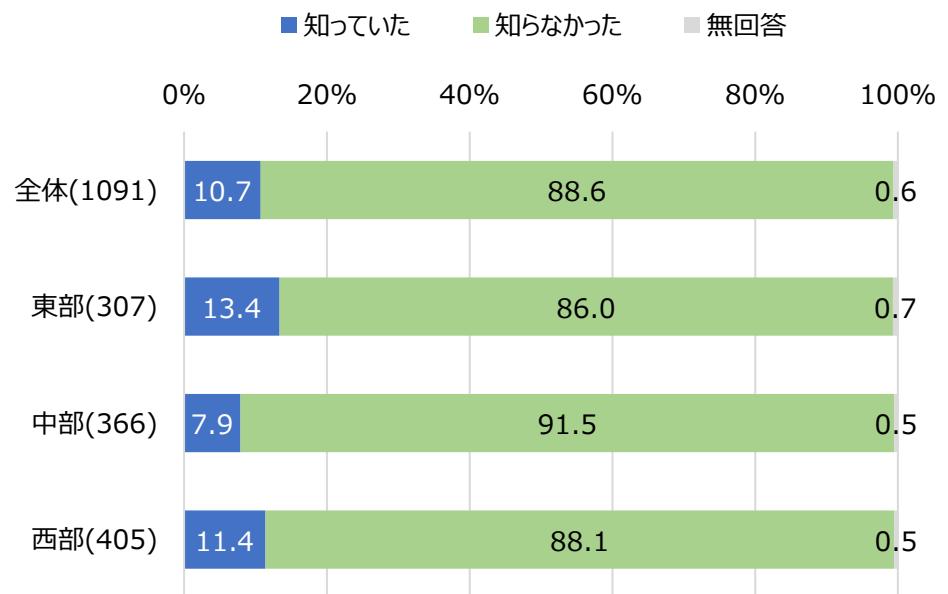
Q6.静岡県医師会が静岡県からの委託を受け
「静岡県医師バンク」を運営していることをご存知でしたか。



回答数5以下
回答数6~10
単位% カッコ内は実数

		知っていた	知らなかった	無回答
全体	※所在地不明を含む (1091)	25.5	74.0	0.5
所在地	東部 (307)	27.4	72.3	0.3
	中部 (366)	24.0	75.4	0.5
	西部 (405)	25.2	74.1	0.7
高齢化	高齢化率上位10位市町 (56)	19.6	80.4	0.0
	高齢化率11位以下市町 (1022)	25.7	73.7	0.6

Q7.静岡県医師会が令和6年3月に静岡県医師信用組合ならびに
静岡銀行と「医業承継支援に向けた包括連携に関する協定」を
締結したことについてご存知でしたか。(○は1つ)

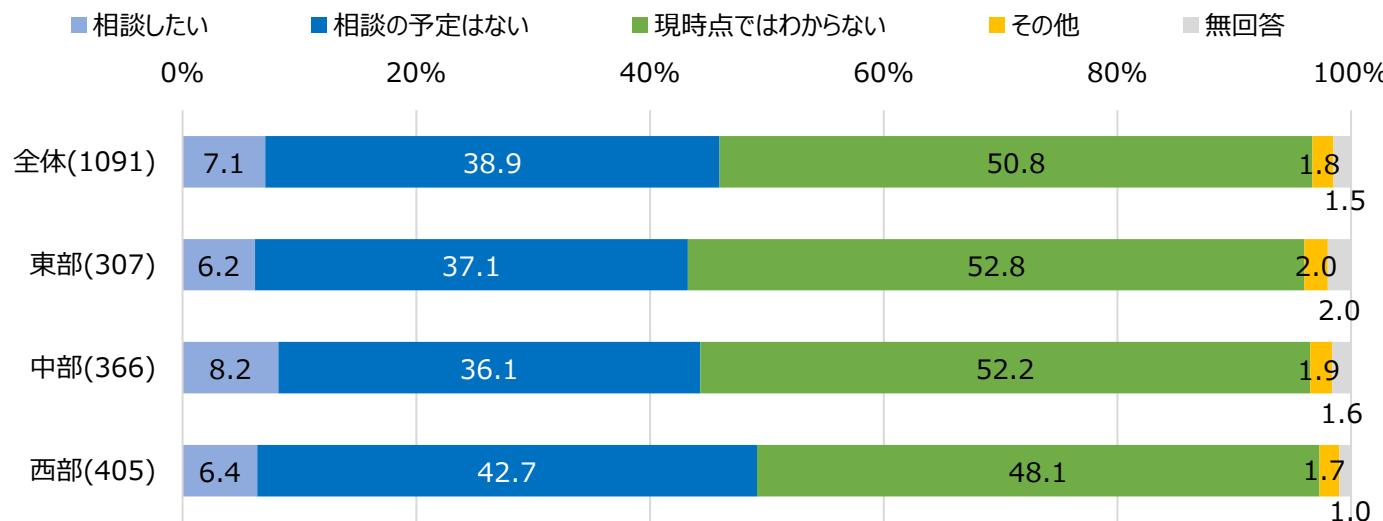


回答数5以下
回答数6~10
単位% カッコ内は実数

		知っていた	知らなかった	無回答
全体	※所在地不明を含む (1091)	10.7	88.6	0.6
東部	(307)	13.4	86.0	0.7
中部	(366)	7.9	91.5	0.5
西部	(405)	11.4	88.1	0.5
高齢化率上位10位市町	(56)	14.3	85.7	0.0
高齢化率11位以下市町	(1022)	10.6	88.8	0.6

静岡県医師バンクへの相談意向

Q8.今後、自院の維持・存続について、静岡県医師バンク(静岡県医師信用組合・静岡銀行との連携協定も含めて)に相談をされたいとお考えですか。(○は1つ)



	回答数5以下	回答数6~10	単位% カッコ内は実数				
			相談したい	相談の予定はない	現時点ではわからぬ	その他	無回答
全体	※所在地不明を含む	(1091)	7.1	38.9	50.8	1.8	1.5
所	東部	(307)	6.2	37.1	52.8	2.0	2.0
在	中部	(366)	8.2	36.1	52.2	1.9	1.6
地	西部	(405)	6.4	42.7	48.1	1.7	1.0
高	高齢化率上位10位市町	(56)	5.4	41.1	53.6	0.0	0.0
齢	高齢化率11位以下市町	(1022)	7.0	38.7	50.7	2.0	1.6
化	Q	承継計	(741)	9.4	33.7	54.1	1.6
	2	第三者、他の医療機関等への承継計	(394)	14.7	22.3	59.6	2.3

調査票



医科診療所の事業継続に関するアンケート調査

ご協力のお願い

静岡県医師会が静岡県からの委託を受けて令和3年1月より運営している「静岡県医師バンク」では、令和6年度の新規事業として「医科診療所の事業継続に関するアンケート調査」を実施いたします。

本アンケート調査は、診療所の医師の高齢化が進む中、地域医療の確保につなげるため、各診療所における医業承継の具体的なニーズ等を把握することを目的に、県内全ての医科診療所を対象として実施するものです。

診療等に大変お忙しい中とは存じますが、本アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年6月26日
一般社団法人静岡県医師会
会長 加陽直実

- 1つの診療所につき1回の回答をお願いいたします。
- 事業継続に関するご意向などを問う内容となっていますが、広くご意見をうかがいたく、事業継続のご意向有無に関わらずご協力ををお願いいたします。
- ご回答いただいた内容については、本調査の目的以外には使用はいたしません。
また、ご回答いただいた調査票は、事業完了後、本会が責任をもって処分いたします。

アンケートの ご回答期限	2024年7月26日（金）必着
お問合せ	静岡県医師会 地域医療課（担当：中山・鈴木） TEL 054-246-6151（平日9時～17時）

＜ご回答の方法＞

ご回答は「郵送」または「インターネット」から行うことができます。

●郵送で回答される場合

本アンケート用紙へのご記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れてポストへご投函ください。（切手不要）

●インターネットで回答される場合

下記のURLまたはQRコードよりWEB回答画面にアクセスし、ご回答をお願いします。

<https://questant.jp/q/sdb24survey>



※太枠の中をご記入ください

■はじめに、先生ご自身ならびに診療所のことについてお尋ねします。以下についてお教えください。

（選択式の質問にはあてはまる番号に○）

F1 年齢	1. 40歳未満 2. 40～49歳 3. 50～59歳	4. 60～69歳 5. 70～79歳 6. 80歳以上
F2 性別	1. 男性 2. 女性	3. 回答しない
F3 所在地（市町）	（ ）市・町	
F4 診療所種別	1. 有床 2. 無床	
F5 開設主体	1. 個人 2. 一人医師医療法人 3. 2.以外の医療法人	4. 公益社団 5. 市町 6. その他（ ）
F6 役職	1. 開設者兼管理者 2. 開設者	3. 管理者 4. その他（ ）
F7 診療科目（○は1つ）	1. 内科 2. 循環器内科・循環器科 3. 消化器内科・消化器科 4. 呼吸器内科・呼吸器科 5. 脳神経内科・脳神経内科 6. 脳神経外科・神経外科 7. 心療内科 8. 精神科 9. 外科 10. 泌尿器科 11. 整形外科 12. 形成外科 13. 美容外科	
	14. 婦人科 15. 産婦人科 16. 小児科 17. 眼科 18. 耳鼻咽喉科 19. 皮膚科 20. 肛門科 21. 放射線科 22. リウマチ科 23. アレルギー科 24. リハビリテーション科 25. 歯科・口腔外科 26. その他（ ）	
F8 担っている地域医療、 保健・福祉・介護保険事 業等の機能 (複数回答可)	1. 初期救急医療（在宅輪番・休日夜間急患センター出務） 2. 各種健診（特定健診・がん検診・乳幼児健診・骨粗鬆症健診・その他） 3. 予防接種 4. 学校医（就学指導を含む） 5. 介護保険（主治医意見書作成・認定審査） 6. 福祉施設協力医療機関・嘱託医（特別養護老人ホーム等） 7. 警察協力医 8. その他（ ）	

【貴院の将来的な維持・存続についてお尋ねいたします】

Q 1. 診療所が開設された経緯をお教えてください。(○は1つ)

1. 現在の開設者が開設した	3. 親族以外の第三者から承継した
2. 親族から承継した	4. その他()

Q 2. 自院の将来的な維持・存続についてどのようにお考えか、お教えてください。(○はいくつでも)

1. 親族への承継	4. 閉院
2. 親族以外の第三者への承継	5. その他()
3. 他の医療機関等への事業承継(事業売却、M&A)	

(Q2 で 1~3 を選んだ方)

→ Q2-1. 承継をお考えの場合、その時期等についてお教えてください。(○は1つ)

1. 5年以内	2. 5~10年以内	3. 10年以上先	4. 未定
---------	------------	-----------	-------

(Q2 で 4 を選んだ方)

→ Q2-2. 閉院をお考えの場合、その時期等についてお教えてください。(○は1つ)

また、閉院により地域に与える影響についてお教えてください。(具体的に)

1. 5年以内	2. 5~10年以内	3. 10年以上先	4. 未定
---------	------------	-----------	-------

閉院により地域に与える影響(具体的にお書きください)

Q3. 自院の維持・存続にあたり、現時点にて後継者候補がいらっしゃいますか。

いらっしゃる場合は、意思確認がなされているかについてもお教えてください。(○は1つ)

1. 後継者候補がいて、承継についても意思確認済み
2. 後継者候補はいるが意思は確認していない
3. 現段階で後継者候補はない

(Q3 で 3 を選んだ方)

→ Q3-1. 「現段階で後継者候補はない」とお答えの場合、その理由をお教えてください。(○は1つ)

1. 医師の子ども・*親族がいない
2. 医師の子ども・*親族はいるが、現時点で承継の予定がない
3. その他()

*親族…6親等内の血族、配偶者または3親等内の姻族

(Q3 で 1~2 を選んだ方)

→ Q3-2. 「後継者候補がいる」とお答えの場合、後継者候補についてお教えてください。

複数の候補者がいらっしゃる場合は第1候補の方についてお答えください。(○は1つ)

1. 子ども	3. 非親族で自院の勤務医
2. 子ども以外の親族	4. 非親族で自院の勤務医以外の者

(Q2 で 2~3 を選んだ方)

Q 4. 親族以外の第三者や他の医療機関等への事業承継を検討するにあたって、不安に思うことをお教えてください。(○はいくつでも)

1. 後継者候補を自力で探せるか不安	4. 妥当な金額で事業譲渡できるか不安
2. 信頼できる相談先が見つかるか不安	5. 引退後、生活水準を維持できるか不安
3. 行政手続き等の実務が不安	6. その他()

全員の方

Q 5. 自院の維持・存続について、現在、具体的な相談をされている機関等があればお教えてください。(○はいくつでも)

1. 都市医師会	5. 民間の医業経営コンサルタント
2. 県医師会	6. 取引業者(医薬品・医療機器関連等)
3. 顧問税理士	7. M&A 仲介専門業者
4. 金融機関	8. その他()

Q5-1 今後、自院の維持・存続について、相談をしてみたい機関等があればお教えてください。

【静岡県医師バンクについてお尋ねいたします】

Q 6. 静岡県医師会が静岡県からの委託を受けて「静岡県医師バンク」を運営していることをご存知でしたか。

1. 知っていた	2. 知らなかった
----------	-----------

Q 7. 静岡県医師バンクが令和6年3月に静岡県医師信用組合ならびに静岡銀行と「医業承継支援に向けた包括連携に関する協定」を締結したことについてご存知でしたか。(○は1つ)

1. 知っていた	2. 知らなかった
----------	-----------

Q 8. 今後、自院の維持・存続について、静岡県医師バンク(静岡県医師信用組合・静岡銀行との連携協定も含めて)に相談をされたいとお考えですか。(○は1つ)

1. 相談したい	3. 現時点ではわからない
2. 相談の予定はない	4. その他()

お忙しい中、ご回答をいただき誠にありがとうございました。

ご回答いただいた内容につきましては、今後の静岡県医師バンクにおける医業承継支援に関する取り組みに活かして参ります。

なお、ご回答内容についてお問い合わせをさせていただく場合がありますので、差しつかえなければご連絡先(E-mail アドレス等)をご教示ください。

※いただいた個人情報については、当バンクにて厳重に管理し、第三者に情報提供いたしません。

診療所名称		
ご回答いただいた方	【お名前】	【役職】
ご連絡先 E-mail アドレス		

静岡県内全ての郡市医師会ならびに市町を対象として実施した

「二次調査」の結果について

調査概要

- 調査目的 医師の高齢化や後継者不足により、地域医療において重要な役割を担う診療所の維持が困難になることが危惧されることから、地域医療の確保を目的として、医業承継に係る具体的なニーズを把握するため、県内全ての医科診療所を対象としたアンケート調査を実施することとした【一次調査】。
一次調査の結果を受けて、郡市医師会ならびに市町行政が、管下の医科診療所の事業継続に関する現状と課題について、どのように把握し対策を講じているかについて調査を実施することとした【二次調査】。
- 調査実施 令和6年12月4日～12月23日
- 調査対象
 - (1) 静岡県内の全ての郡市医師会（令和6年12月1日現在 22医師会）
 - (2) 静岡県内の全ての市町（令和6年12月1日現在 35市町(23市・12町)）
- 調査方法
 - (1) 郡市医師会（事務局宛て）にEメールにて回答を依頼
 - (2) 静岡県健康福祉部（医療政策課）に依頼して、市町にEメールにて回答を依頼
- 回収数
 - (1) 22医師会（回収率100%）
 - (2) 31市町（回収率88.5%）
- 調査主体 静岡県委託 静岡県医師バンク

調査結果の概要（都市医師会アンケート調査・市町アンケート調査）

【都市医師会アンケート調査】（*全22都市医師会より回答 回収率100%）

1. 事業継続（医業承継等）に係る相談窓口の設置状況（問1） *P31 参照

常設の相談窓口を設置している都市医師会（以下、医師会）はなく、「必要に応じ対応」（18.2%）、「外部機関を紹介」（9.1%）と何らかの対応をしている医師会は6医師会（27.3%）であった。また、「医師会として相談に応じていない」とした医師会は11医師会（50.0%）で、その理由は、「相談・依頼力がなかった」（6医師会）、「都市医師会では対応できない」（2医師会）、「個人間の問題」（2医師会）であった。

2. これまでの相談事例（問2） *P32 参照

回答のあった10医師会のうち、過去3年以内に会員から相談を受けた医師会は5医師会で、うち、「11件以上」が1医師会（4.5%）、「1～5件」が4医師会（18.2%）であった。具体的な相談内容としては「高齢や後継者不在のため承継希望者の紹介を希望」が複数あった。

3. 診療所の事業継続に関する現状と課題等（問3・4） *P33 参照

診療所の事業継続に関する現状と課題等（自由記述）については、「開設者兼管理者の高齢化や後継者不在により親族以外の第三者への事業承継や廃業（閉院）を検討している診療所が多い」、また、「人口減少から、廃業（閉院）を検討している診療所が多い」との回答が複数あった。

また、都市医師会には医業承継に関するノウハウやマンパワーがないため、医業承継に関する情報の一元化や法的支援ができる職員の配置など、システムチックな相談窓口が必要との意見があった。

診療所の減少は、「初期救急（休日夜間急患センター、在宅輪番）」、「学校医」、「要介護認定」などの地域医療、保健・福祉業務にも影響が大きいとの意見が複数あった。また、行政に対して、診療所の開設および事業承継を支援する事業（補助金等）の施策を求める意見もあった。

【市町アンケート調査】(*全35市町のうち31市町より回答 回収率88.5%)

1. 事業継続（医業承継等）に課題を抱える診療所の状況把握（問1） *P34参照

管下の診療所の事業継続に係る課題等の現状を「把握している」と回答した市町は11市町（31.4%）で、これらの市町での把握方法は、「都市医師会に委託して取り組む」、「初期救急、各種健診、予防接種、介護保険事業等の中で、医師会、診療所、地域の基幹病院等から情報を入手」、「対策について協議している」との回答が複数あった。

また、「診療所医師の高齢化や後継者不足の現状は把握しているが、事業継続に向けた方策に市町が踏み入ることは難しい」との意見があった。このほか、「都市医師会との協議する中で、開業医不足が深刻な地域課題となっており学校医や休日診療在宅当番医など、会員の負担が増加している」との意見があり、地域の基幹病院との協議においては、「開業医の減少に伴い、かかりつけ医との連携による地域医療体制に不安を感じているとの意見を聞いた」との回答があった。

2. 事業継続（医業承継等）に関する診療所からの相談の状況（問2） *P35参照

診療所より相談を受けたことがあると回答した市町は2市町（5.7%）で、多くの市町は管下の診療所から事業継続に関する相談を受けたことがないと回答した（未回答を含め33市町、94.3%）。2市町が受けた相談は、「施設の老朽化」、「診療報酬改定に伴う収入減や物価高騰等による不採算」、「医師確保が困難」といった内容であった。

3. 事業継続に係る諸課題への対応（都市医師会・保健所等との連携）（問3） *P35参照

「都市医師会や保健所と連携して情報共有ならびに対応を行っている」と回答した市町は9市町（25.7%）で、これら市町は、「都市医師会とは各種会議の場および各種保健事業等を通じて情報共有等の連携」を、「保健所とは、地域医療協議会や在宅医療・介護連携協議会等の場を通じて連携、対応策等の検討をおこなっている」との回答であった。

4. その他意見等（問4） *P36参照

「医師の高齢化により初期救急の要である在宅当番医制、救急センターの維持が課題となっている」との回答が複数あった。また、「事業継続に向けて、行政と医師会が連携して現状把握をおこなう必要がある」、また、「県内移住・開業を希望する首都圏の病院勤務医とのマッチングシステムの構築等、医科診療所の事業継続を支援する体制づくりに取り組んでほしい」との意見があった。

都市医師会を対象として実施した調査の結果 (*全22都市医師会より回答 回収率 100%)

1. 事業継続（医業承継等）に係る相談窓口の設置状況について（問1）



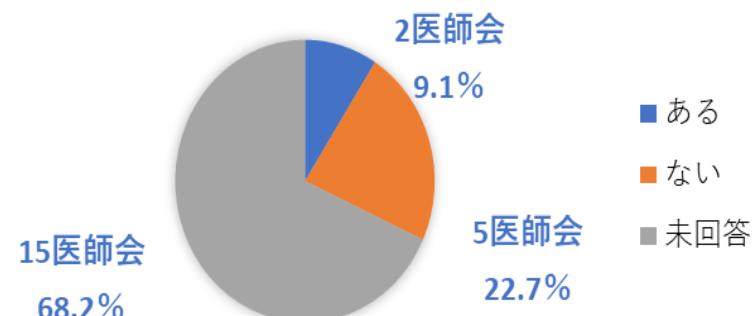
- ・「常設窓口がある」を選択した都市医師会（以下、医師会）はなかった。
- ・「常設窓口はないが必要に応じ対応」もしくは「(同) 外部機関紹介」を選択した医師会は6医師会（27.3%）であった。対応は全ての医師会で役職員（会長、事務長等）が行い、紹介先は「静岡県医師バンク」、「静岡県医師信用組合」等であった。なお、役職員による相談会を開催している医師会もあった。
- ・「医師会としては相談には応じていない」を選択した医師会は 11 医師会（50.0%）であった。その理由として、「相談・依頼がなかった」（類似の内容を含む；以下同じ）と回答した医師会が6医師会、「都市医師会では対応できない」を選択した医師会が2医師会、「個人間の問題」と回答した医師会が2医師会、「問合せがあれば会長に相談」と回答した医師会が1医師会であった。
- ・「その他」を選択した医師会は5医師会（22.7%）であった。自由記載では、「相談があれば、可能な範囲で職員が対応もしくは役員に相談」、「静岡県医師会等へ相談」の記載があった。

2. これまでの相談事例について（問2）

問2-1 近年（過去3年程度）の相談件数



問2-2 相談件数は増加傾向にある・ない



問2-3 具体的な相談内容および対応の結果

- ・高齢や後継者不在のため承継希望者の紹介希望（複数）
→静岡県医師バンクを紹介、民間コンサル等への相談を助言、相談会の開催
- ・承継までの対応（一時的な休診等）
→事務手続きへの支援。

・相談件数については、「0件」と回答した都市医師会（以下、医師会）は5医師会（22.7%）、「1～5件」が4医師会（18.2%）、「6～10件」が0医師会（0.0%）、「11件以上」が1医師会（4.5%）、「未回答」が12医師会（54.5%）であった。

・相談件数の増加傾向の有無については、「ある」と回答した医師会は2医師会（9.1%）、「ない」が5医師会（22.7%）、「未回答」が15医師会（68.2%）であった。

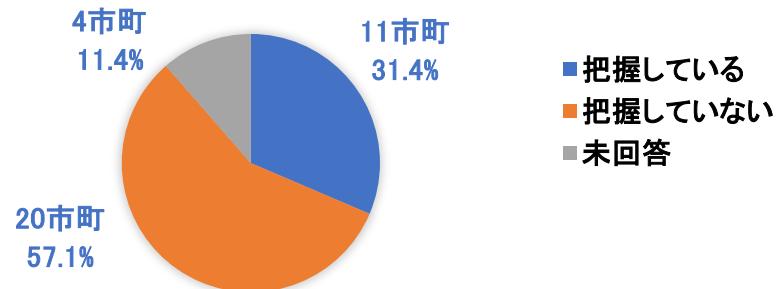
3. 診療所の事業継続に関する現状と課題等について（問3・4）

- ・開設者兼管理者の高齢化や後継者不在により、親族以外の第三者への事業承継や廃業（閉院）を検討している診療所が多いのではないか。（複数）
- ・今後の人口減少から、事業承継よりも廃業（閉院）を検討している診療所が多いのではないか。（複数）
- ・都市医師会には事業承継に関するノウハウがなく、マンパワーも少ないため対応できない。（複数）
- ・事業承継に関する情報の一元化や専門の職員の配置など、システムチックな相談窓口が必要ではないか。
- ・親族間以外の第三者への事業承継の場合、様々な手続きなどが必要になる。法的視点を持った手続きへの支援や訴訟対応等の相談窓口があると良いのではないか。
- ・都市医師会としては、個々の状況は把握していない。
- ・包括連携協定締結により、実効性の高い体制構築に期待している。
- ・静岡県医師バンク事業の周知方法を改善して欲しい。（複数）
- ・診療所の減少は、「初期救急（休日夜間急患センター、在宅輪番）」、「学校医」、「要介護認定」などの地域医療、保健・福祉業務にも影響が大きい（既に逼迫している）。（複数）
- ・人口に対して診療所が少なく、地域や診療科に偏りがある。（複数）
- ・過疎地域では、閉院した診療所のフォローを行う協力体制が難しく苦慮している。
- ・行政が土地の利用・有効性を広報して、新規開業を進めてもらいたい。
- ・行政が診療所の開設および事業承継を支援する事業（補助金）を設けて対応している。

市町を対象として実施した調査の結果 (*全 35 市町のうち 31 市町より回答 回収率 88.5%)

1. 事業継続（医業承継等）に課題を抱える診療所の状況把握について（問1）

【問1】事業継続に課題を抱える診療所の現状等について把握していますか？

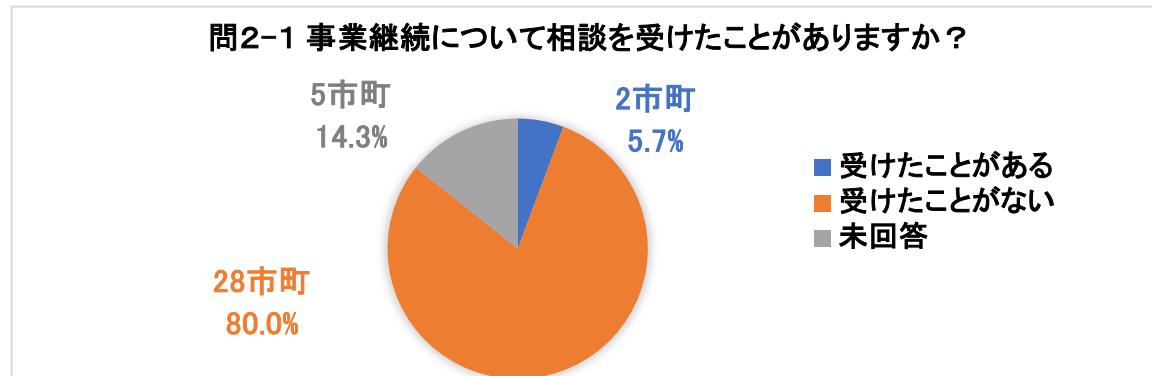


- 管下の診療所の事業継続に係る課題等の「現状を把握している」と回答した市町は 11 市町 (31.4%) であった。また、「把握していない」と回答もしくは「未回答」と回答した市町は 24 市町 (68.5%) であった。
- 地区別にみると、東部地区においては、7 市町が「把握している」と回答した一方で、12 市町が「把握していない」と回答した。中部地区においては 2 市町が「把握」、4 市町が「把握していない」と回答、また、西部地区においては 2 市町が「把握」、4 市町が「把握していない」と回答した。
- 「把握している」と回答した市町では、「郡市医師会に委託して取り組む、初期救急、各種健診、予防接種、介護保険事業等の中で、医師会、診療所、地域の基幹病院等から情報を入手、対策について協議している」との回答が複数あった。また、アンケート調査や個別訪問、懇話会の開催等により現況の確認に取り組む市町もあった。
- 複数の市町が合同して開催する会議、打合せ等の場にて、近隣市町との情報交換に取り組む地域もあった。

【その他の意見】

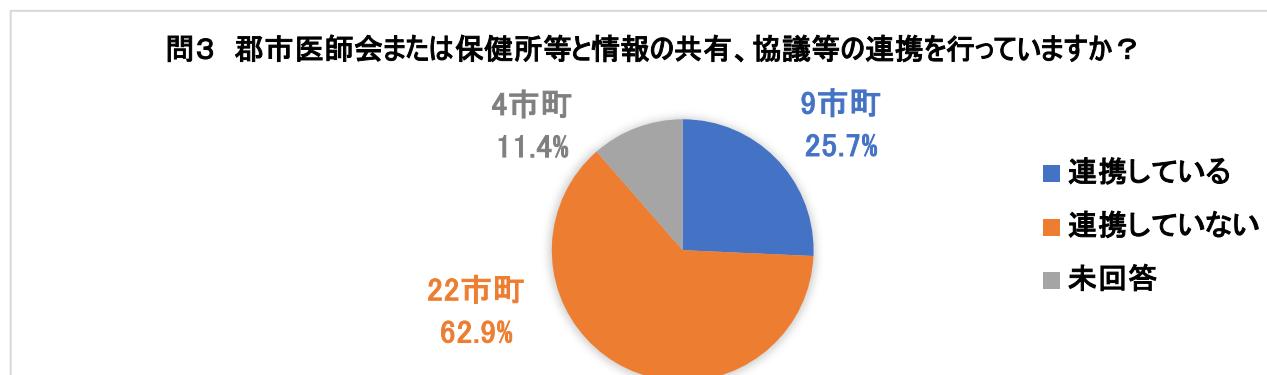
- 診療所医師の高齢化や後継者不足の現状は把握していても、当該診療所の事業継続に向けた方策に市町が踏み入ることは難しい。
- 郡市医師会との協議の中で、新規開業または事業継承する診療所より閉院する診療所の方が多く、開業医不足が深刻な地域課題となっており、学校医や休日診療在宅当番医など、会員の負担が増加しているとの意見があった。
- 地域の基幹病院から、開業医の減少に伴い、かかりつけ医との連携による地域医療体制に不安を感じているとの意見があった。

2. 事業継続（医業承継等）に関する診療所からの相談の状況について（問2）



- 診療所より相談を受けたことがあると回答した市町は2市町（5.7%）であり、多くの市町は管下の診療所から事業継続に関する相談を受けたことがないと回答した（未回答を含め33市町、94.3%）。
- 2市町が受けた相談は、「施設の老朽化」、「診療報酬改定に伴う収入減や物価高騰等による不採算」、「医師確保が困難」といった内容であった。

3. 事業継続に係る諸課題への対応（都市医師会・保健所等との連携）について（問3）



- 診療所の事業継続に係る諸課題について、「郡市医師会または保健所等と情報の共有、協議等による連携を行っている」と回答した市町は9市町（25.7%）であった。これら市町においては、郡市医師会とは、各種会議の場および各種保健事業等を通じて情報共有等の連携を、また、保健所とは、地域医療協議会や在宅医療・介護連携協議会等の場を通じて連携、対応策等の検討をおこなっているとの回答があった。

4. その他意見等（問4）自由記載

- ・医師も高齢化しており、初期救急の要である在宅当番医制度の維持が困難となっている。診療所維持のため、医師派遣や政策金融公庫の事業承継マッチング支援のような施策を検討してほしい。（東部）
- ・救急医療センターに医師会から医師の派遣を受けているが、医師の高齢化により将来的に派遣が難しい状況が発生しうることを医師会から問題提起されている。医科診療所の事業継続について具体的な状況を把握していく必要があると認識している。（東部）
- ・救急センターの運営を担う医師会から、医師の高齢化についての話は聞いており、現状把握や情報共有は行っている。（中部）
- ・医師の高齢化により、受付のDX化（マイナ保険証導入）が閉院のきっかけになった診療所があったため、それらを見直さないと、さらに閉院が増えてしまうと思われる。（西部）
- ・後継者のいない診療所と、県内移住・開業を希望する首都圏の病院勤務医の両者をマッチングできる仕組みが構築できれば、医科診療所の事業継続のみならず、人口減少対策にも寄与すると思う。（中部）
- ・診療所の開設および事業承継を支援する事業（補助金）を設けて対応している。（西部）
- ・現在、事業継続に関する課題はないが、将来的に、指定管理運営費の増額を考えざるを得ない等の課題はある。（東部）
- ・問題を抱える診療所の情報共有をしていただけるとありがたい。（西部）
- ・診療所の事業継続支援体制や対策について、具体策があればご教示願いたい。（東部）
- ・診療所の減少が予測されるため、新規医師の確保等について県の協力をいただきたい。（西部）

医科診療所の事業継続に関する「都市医師会アンケート」調査票

貴会名	
ご担当者	お役職
	お名前
	ご連絡先

【問1】貴会では会員からの事業継続(医業承継等)に係る相談窓口を設けていますか。

該当するものに□いただき、それぞれの質問にお答えください。

<input type="checkbox"/>	常設の窓口がある □ 窓口の名称、担当役職員の数、会員への周知方法についてご教示ください。	問 2 へ
<input type="checkbox"/>	常設の窓口はないが、必要に応じて対応している □ 対応担当の担当役職員についてご教示ください。	
<input type="checkbox"/>	常設の窓口はないが、必要に応じて外部機関を紹介している □ 外部機関の名称、会員への周知方法等についてご教示ください。	問 2 へ
<input type="checkbox"/>	医師会として相談には応じていない □ 応じていない理由をご教示ください。	
<input type="checkbox"/>	その他 (自由記載)	問 3 へ

【問2】これまでに相談のあった事例に関して、以下の点についてご教示ください。

① 近年(過去3年程度)の相談数 件
② 相談件数は増加傾向にある・ない (該当する方に○)
③ 具体的な相談内容および対応の結果(*個人情報の記載は不要)

【問3】高齢化や後継者不在等の理由により事業継続に課題を抱える診療所の現状等について、貴会管下の現況と課題、また、具体的な対応策等(検討中を含む)がありましたら、差し支えない範囲でご教示ください。

--

【問4】その他、医科診療所の事業継続に関してご意見等があればご教示ください。

--

*ご協力いただき、ありがとうございました。

静岡県医師バンク運営事務局 宛
FAX 054-245-1396
E-mail dr-bank@jim.shizuoka.med.or.jp

医科診療所の事業継続に関する「市町行政アンケート」調査票

市町名	
ご担当者	お役職
	お名前
	ご連絡先

【問1】管内で、高齢化、後継者不在等の理由により事業継続に課題を抱える診療所の現状等について把握していますか。

[把握している ・ 把握していない](該当する方を○で囲んでください。)

↓

* 把握している場合、どのような形で情報を把握していますか。

また、その状況について、差し支えない範囲でご教示ください。

[空白枠]

【問2】これまでに、事業継続について管内の診療所から相談を受けたことがありますか。

[受けたことがある ・ 受けたことがない](該当する方を○で囲んでください。)

↓

* 相談を受けたことがある場合、以下の点についてご教示ください。

① 最近(過去3年程度)の相談件数	件
② 相談件数は増加傾向に ある ・ ない	(該当する方に○)
③ 具体的な相談内容および対応の結果 (*個人情報の記載は不要)	

[空白枠]

【問3】診療所の事業継続に関する課題等について、都市医師会または保健所等と情報の共有、協議等の連携を行っていますか。

[連携している ・ 連携していない](該当する方を○で囲んでください。)

↓

* 連携している場合、連携先や具体的な連携方法等について、差し支えない範囲でご教示ください。

[空白枠]

【問4】その他、医科診療所の事業継続に関してご意見等があればご教示ください。

[空白枠]

* ご協力いただき、ありがとうございました。